



# 工業会

The Japanese Association For Non-Destructive Testing Industry (JANDT)

発行元 一般社団法人日本非破壊検査工業会  
 〒101-0047  
 東京都千代田区内神田2丁目8番1号 富高ビル3F  
 電話 03-5207-5960 FAX 03-5207-5961  
 URL : <https://www.jandt.or.jp/>  
 編集 : 広報部会

## 第20回 日本非破壊検査工業会 技術討論会を開催

技術部会（安田裕之部会長）は、7月25日、川崎市産業振興会館において「脱炭素社会に向けた非破壊検査技術の適用における課題と展望」をテーマとして技術討論会を開催した。プログラム構成は、午前の部に特別講演と基調講演を各1件、午後の部に基調講演と特別講演を各1件、その後は登壇者によるパネルディスカッションを行った。参加者は、80名（一般57名、招待者7名、他）と例年より若干少なかったが、会員以外にも脱炭素の取り組みに関心の高い方々が多数参加され、活発な討議が行われた。

討論会は、中村英之（IHI 検査計測）実行委員長の開会宣言で始まり、長岡康之理事長の主催者挨拶に続き、今年度から新たに川崎市産業振興財団理事長に就任された鈴木毅理事長より共催者挨拶を頂いた。

午前の部は、鈴木啓之（ダイヤ電子応用）座長の司会で進められた。最初の講演は、川崎市臨海部国際戦略本部で成長戦略推進部カーボンニュートラル推進を担当する江崎哲弘課長より「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」というテーマで、川崎市のコンビナートの歴史から水素供給網を中心とした新たなコンビナート構想など川崎市が官民一体となり進めるプロジェクトが紹介された。

二つ目の講演では、東京工業大学工学院機械系の水谷義弘准教授より「モニタリング技術を活用した水素関連機器の革新的技術展開」というテーマで、構造ヘルスマニタリングやAIを活用することにより、保全方法が変わる可能性があるほか、複合圧力容器の設計思想も安全を担保しつつ安全率が下げられる可能性があることが示された。

午後の部は、渡辺正宏（検査技研）座長の司会で進められた。三つ目の講演では、JSNDI会長である長岡技術科学大学の井原郁夫副学長より、「サステナブル社会に向けたJSNDIの取り組みと最近の研究」とい



技術討論会のもよう

うテーマでDXなどの社会変革が広がる中でステークホルダーに向けたサービスなどの取り組みとご自身の研究である超音波センシング技術が紹介された。

四つ目の講演では、経済産業省高圧ガス保安室の山本宣行課長補佐より、「高圧ガス保安行政の動向について」というテーマにて、新たな技術を活用するスマート保安とそれに関連する高圧ガス保安法の改正、手続きの電子化、水素サプライチェーンなどについての経産省の取り組みが紹介された。

最後のパネルディスカッションでは、横浜国立大学大学院環境情報研究院の笠井尚哉准教授のコーディネートのもと、水素関連施設に新たな技術を適用するうえで生じる課題などについて、登壇者および会場の参加者が加わり活発な討論がなされた。

閉会宣言は安田技術部会長より、関係各位への御礼とともに有意義な技術討論会であった旨が述べられ、第20回技術討論会は成功裡に閉会した。その後の懇親会では、秋野公造参議院議員より乾杯の挨拶を頂いたほか、三浦のぶひろ参議院議員からもご挨拶を頂いたことを紹介する。



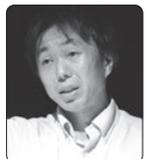
中村英之  
実行委員長



長岡康之  
理事長



川崎市産業振興財団  
鈴木毅理事長



江崎哲弘  
課長



水谷義弘  
准教授



井原郁夫  
副学長



山本宣行  
課長補佐



笠井尚哉  
准教授



安田裕之  
技術部会長



秋野公造  
参議院議員



三浦のぶひろ  
参議院議員



鈴木啓之  
座長



渡辺正宏  
座長

## 西日本支部 令和6年度支部大会を開催

7月4日、西日本支部は北九州市小倉北区の「リーガロイヤルホテル小倉」にて、野口博文副支部長の司会のもと、令和6年度支部大会を開催した。

冒頭、挨拶に立った清水重之支部長は、激甚化・頻発化する風水害や地震災害に屈しない強靱な国土づくりやインフラ老朽化対策が取り組まれており、防災・減災が主流となる社会の構築が推進されているが、その一方では、非破壊検査業界でも人材不足や技術者の効率的な育成等に課題がある。このような環境下、当工業会は非破壊検査の普及と振興を通じて社会的地位と信頼性を高めるとともに健全な発展に寄与する活動を進めて行く。

本部活動においては、工業会をより魅力的な団体とすべく、会員満足推進WGによる検討や、技術者の応援・相談・検査機器情報等の掲示板「工業会119」の活用への取り組み、支部活動としては、「技術交流会」・「アンケート要望による講座」等の活発な活動を行い、会員の期待に応える支部作りに取り組んでいくと述べた。

次に、令和5年度の会務及び会計・監査報告並びに活動報告と各委員による委員会活動報告が続いた。また、清水支部長は令和6年度の会務及び運営体制並びに事業計画についての報告を行った。最後に、令和6年度の優良従業員表彰・無災害労働時間表彰・安全衛生標語の表彰式が行われ閉会となった。

その後の懇親会では、清水支部長の開会挨拶、秋野公造参議院議員並びに齊藤鉄夫衆議院議員の稲田隆則秘書による来賓挨拶が続き、長岡康之理事長の乾杯音頭で懇親会が開宴した。各社出席者が親睦を深める中、中締めは松村康人顧問の一丁締めで散会となった。



支部大会のもよう



懇親会のもよう

**K 経験豊富な実績**

**E 笑顔で、業務に取り組みます**

**I いつでもどこでもあらゆるニーズにお応えします**

放射線透過試験／超音波探傷試験／磁粉探傷試験／浸透探傷試験  
過流探傷試験／漏れ探傷試験／レーダー探査／気密・耐圧試験

**KEI 京浜検査工業株式会社**

原子力規制委員会使用許可・CIW認定業者

本社：横浜市金沢区福浦2-6-10

TEL：045-701-2072 FAX：045-784-4100

山形営業所：山形県南陽市若狭郷屋253-2

TEL：0238-43-8100 FAX：0238-43-8108

アンカー工事  
スタッド工事  
ハッリ工事  
耐震補強

引張試験  
鉄筋探査  
レントゲン

ダイヤモンド販売  
コアビット販売  
ハンドカッター販売  
カップサンダー販売  
道路用ブレード販売

社団法人日本建設あと施工アンカー協会加盟  
**中央総業株式会社**

神奈川相模原市南区相模大野3-20-1 中央総業ビル4F  
TEL 0120-07-1222 FAX 0120-07-5585

**JEC 日本エンジニアリング株式会社**

- ◇ 鋼、コンクリート構造物の調査・各種試験
- ◇ 各種プラントの目視検査・非破壊検査
- ◇ その他非破壊検査業務全般

未来を見守る  
確かな技術

〒210-0012  
川崎市川崎区宮前町7番15号

TEL 044-245-8311  
FAX 044-245-8318  
E-mail jec@nihoneng.jp  
URL http://nihoneng.jp/homepage/

安全で安心な

生活環境を

目指して

非破壊検査と焼鈍工事の

**ユキビルド 株式会社**

〒210-0808 川崎市川崎区旭町1-9-10

TEL:044-222-3222 FAX:044-201-6532

## 関西支部 令和6年度 9月例会兼経営交流会を開催

9月5日、関西支部(的場正文支部長)は、ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンターにおいて9月例会兼経営交流会を出席者29名のもと開催した。

冒頭、的場支部長は出席者への謝辞の後「日本経済は、製造業の顕著な活躍とそれに加えた観光業等のサービス業の回復が地域全体の経済活動に寄与しているが、その反面ではエネルギーコストの上昇や人手不足といった課題も抱えており、これらに対する迅速な解決が求められている。非破壊検査は産業界にとって欠かせない分野であり、その需要はますます高まり新技術の導入など更なる高度化が求められている。また、関西支部のホストで、10月10日に開催される合同例会への積極的な参加をお願いしたい」と挨拶した。

9月例会では、本部及び各支部の活動実績等が報告されたのち、引き続き経営交流会が開催された。今回の特別講演は「ダイバーシティ経営(多様な人材の活用)」と題し、社会保険労務士法人A&Gマネジメントコンサルティングの森垣桂子先生が講演を行った。各社苦戦している人材採用について現在の採用を取り巻く環境、Z世代の採用事情、中途採用事情等について具体的な例を示し1時間の講演が行われた。その後の質疑応答では具体例が示され、有意義な時間となった。

検査機器の紹介では、KS-NETよりコンクリート内部探査機の最新装置FLex NXについて、革新的技術となるクロススキャンで、鉄筋直下の塩ビ管の検出が可能となることなどを従来装置と対比しながらの説明と、新たに搭載した技術として3D探査時にグリッドシートが不要となることやワイヤレス化についての紹介があった。

その後、会場を移して、川崎博義幹事の挨拶・乾杯の後、会員各社の情報交換・歓談が和やかな雰囲気の中で行われた。



的場正文支部長



特別講演のもよう



懇親会のもよう

## 西日本支部 令和6年秋期例会・経営交流会を開催

西日本支部(清水重之支部長)は、9月5日午後3時から、ANAクラウンプラザホテル広島において、出席者28名のもと「令和6年度秋期例会・経営交流会」を開催した。冒頭、清水支部長は、会員企業の皆様に対して、平素よりの支部活動へのご支援とご協力に謝辞を述べたのち「秋期例会では、

支部の前期事業報告及び今後の予定について、経営交流会では「ダイバーシティ経営(多様な人材の活用)について」と題した講演を予定している。これを機会にダイバーシティ経営を推進して頂けたら幸いである」と挨拶をした。また「本部活動では、会員満足推進WGの検討結果を各部会にて審議している。広報部会は、会報やHP等の企画・制作に係る活動の効率化・効果向上を目的として、編集委員会を創設する。安全部会では「第2回エックス線安全取扱教育講習(eラーニング)」を11月1日~12月31日まで開催する」との報告があった。

次に、来賓挨拶として長岡康之理事長は「7月25日に技術討論会を開催し、80名近くの皆様にご参加頂き、大盛況のうちに終了した。また、各種新しい技術の適用を目指した活動を行っている。引き続き皆様のご協力をお願いしたい」と語った。

引き続き、清水支部長による前期の支部活動報告並びに、各委員長(広報・技術・安全・教育)による委員会報告及び本部関連報告が行われた。その後、経営交流会に移り、筒井社会保険労務士事務所の筒井良子所長が「ダイバーシティ経営(多様な人材の活用)について」と題した講演を行い、ダイバーシティ経営推進のポイントを分かりやすく説明した。

休憩を挟んで、会場を移しての懇親会には41名が参加者した。清水支部長の開会挨拶に続き、秋野公造参議院議員よりの丁寧な祝電が披露され、長岡理事長の乾杯の音頭で懇親会が開演した。その後、斉藤鉄夫衆議院議員の稲田隆則秘書からご挨拶を頂き、来賓及び会員同士の名刺交換や活発な情報交換と親睦の輪が広がり、宴たけなわのところ松村康人顧問の一本締めで散会となった。



清水重之支部長



長岡康之理事長



筒井良子所長

# 点検調査作成支援システム「タテログ」の開発

## 1.はじめに

高度成長期以降に整備したインフラが今後急速に老朽化する事が見込まれる。

関東地方整備局の発表によると、管内の道路橋（橋長2m以上）で建設後50年以上が経過する施設の割合は現在約36%、10年後には56%、20年後には約75%となっている。併せて、1950年には233万人だった出生数も減少傾向にあり、2023年には73万人を割込み2024年には70万人を下回るのではないかと推測が出ている事からも人口減少により技術者の数が減少していく事が懸念されるのである。

老朽化が進む橋梁の増加に対して技術者は減少していく現代においてはDX化により効率良く定期点検を行い維持管理していく必要がある。

## 2.橋梁点検のワークフローと課題

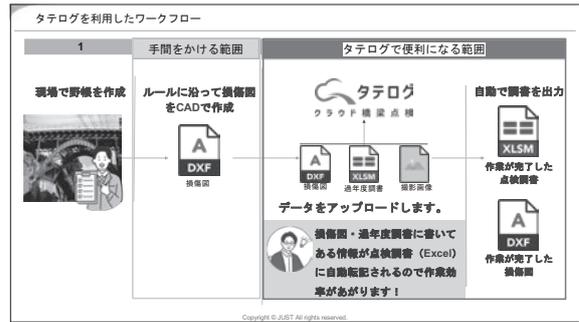
橋梁点検の作業フローは右記で行う点検会社が多い。

右記工程において私達が効率化を図れると考えたのがステップ3とステップ4である。ステップ3では損傷図や過年度の点検調査に書かれた情報や様式を跨いだ転記作業が多い事や、大量の写真をExcelに貼り付ける作業、調査作成後に写真を差し込んで修正を行う作業の煩雑さに課題があった。ステップ4においてはステップ3の作業が煩雑な事から間違いが起こりやすく、間違いを修正してはまた別の間違いが起こる事が課題だったのである。

ステップ1	現場で野帳と損傷写真を撮ってくる
ステップ2	野帳を元に損傷図をCADで作成する
ステップ3	損傷図を元にExcelで点検調査を作成する
ステップ4	損傷図と点検調査の整合性を確認する

## 3.タテログについて

クラウド型のシステムであり、昨年12月にはNETISにも登録が完了した。損傷図(DXF)と過年度の点検調査(Excel)をタテログにアップロードする事によって、転記作業が完了した点検調査(Excel)を吐き出す事ができ、システム内で写真の貼付けや差し込みも簡単に行う事ができる。損傷図(DXF)と過年度の点検調査(Excel)の情報が今年度作成する点検調査(Excel)に自動転記されるから整合性が取れたデータができるのである。



## 4.従来作業との比較

橋長1,100m、10径間、鋼材の箱桁でタテログを利用して国土交通省平成31年3月の様式で点検調査の作成を行った。転記、写真の貼付けや差し込みをシステム化できた事により、チェック作業も負担が軽減された結果、従来のやり方では57.75時間かかっていた作業を15時間で終える事ができ74%の削減効果となったのである。

## 5.おわりに

導入先の点検会社からは、タテログを利用した事で作業量が膨大な調査作成による精神負担がなくなった、作業時間が読めるようになり予定を入れやすくなったといった利用後のレビューをいただいた。それはタテログの基本的なシステムフローを気に入っていただけただけでなく、要望を柔軟にシステムに反映している事にも要因がある。これからも、橋梁点検を行う皆様から真に使い易いと思っただけのシステムとなるように開発を続けていく。

**写真貼付け、写真番号、径間番号、部材名、要素番号、損傷種類、損傷程度、メモを自動作成**

**自動で転記**

問合せ先：(株) ジャスト 営業2部 高谷充晃

TEL : 045-911-9669 FAX : 045-911-8041 E-Mail : m\_takaya@just-ltd.co.jp HP : https://www.just-ltd.co.jp

# 試験体表面の非破壊試験計測、外観検査(VT)機器の開発

## 1. はじめに

溶接後の外観検査は非破壊検査の中で重要な検査項目と位置付けされており、一般的には目視で行われ、測定はその目的に応じた各種ゲージが用いられている。しかし、測定ゲージを使用した場合、検査技術者による個人差があるため、その結果のばらつきが問題になる。よって、人為的な差異を減らし、測定を自動化することにより、測定精度・作業速度・客観性・記録性を高めることを目的に開発した。



写真1 測定器の外観

## 2. 基本原理

2次元変位(X軸,Z軸)データ取得用に搭載している機器は、KEYENCE社製のラインレーザー式変位計(※1)である。対象物に青色レーザーを照射させ、反射光を専用レンズで観測する2次元三角測距方式である。ポイント式からライン式になっているので、動的X軸スキャンの必要がなくなっている。よってY軸をトリガースキャンすると数分で3次元変位を取得することができる。また、測定値に閾値を付けることで許容範囲を設定することもできる。

配管溶接部のスキャン台車は片持ち式を採用した。片側配管の外周を仮想円と仮定しプロファイルを取得すると、溶接における様々な形状状態を数値として取得する事ができる(右図「写真2」)。なお、溶接前は開先情報、溶接後は目違い量、ビード幅、余盛高さ、アンダーカットなどが測定できる。

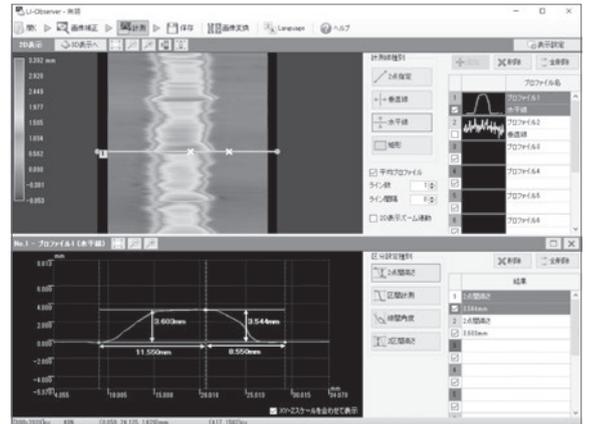


写真2 平面図(上)と断面図(下)測定器の外観

## 3. 装置構成

検査装置は、スキャナー、ケーブル、コントローラ、パソコンとなる。電源はAC100V、又はバッテリー駆動であり、電源確保困難場所でも装置駆動が可能である。スキャナーは磁石タイヤを採用しているため、鋼管に吸着させることができる。走行は手動により操作する。

測定器はKEYENCE社製のラインレーザー変位計:LJ-V7000シリーズで、取得後のプロファイルを専用ソフトウェアに読み込ませる事で、測定値を視覚的に表現することができ、許容範囲の有無を判断することができる。また、測定器をLJ-X8000シリーズにカスタマイズすることで、測定範囲にゲート(測定ポイント)を設定する事が可能になり、閾値を付けることで、許容範囲の有無も判断することができる。取得後のデータはデジタルデータなので保管に優れ、専用のソフト(弊社開発)を使用することで、3D化(右図「写真3」)を表現することも可能である。



写真3 3Dプリント化

## 4. ラインレーザー式変位計の特徴

ラインレーザー方向をX軸とし、Z軸(高さ変位)データをプロファイルとして、2次元データを一瞬で取得することができる。Y軸方向はエンコーダにてトリガーを発生させ任意のピッチにて取得可能である。以上のデータにより、3D化表現を取得することができる。また、レーザーヘッドには種類(X軸幅)があり、用途に合わせて選ぶ必要がある。

## 5. おわりに

現在の導入実績は、パイプラインの新設工事に活用されており、管円周方向をスキャンする場合、管軸方向に80mm(±40mm)を測定範囲としている。また、貯槽などは隅肉コーナー部などのL角面取得や、腐食凹み計測などに対応するため、測定範囲を200mm程度とし各種測定依頼に対応している。

※1: 弊社で搭載している変位計は、KEYENCE社製LJ-V7200

問合せ先: 東京理学検査(株) 技術開発部 佐々木一哉

TEL:03-3766-4501 FAX:03-3765-7847 E-Mail:information0337664501@tokyorigaku.co.jp HP:https://tokyorigaku.co.jp/

「NDI レベル2資格取得のための受験対策セミナー」を開催

東日本支部及び関西支部の教育委員会は、JSNDIレベル2受験者を対象に、一次試験対策セミナーを以下の日程で開催し、各会場には延べ52名（東日本支部24名、関西支部28名）の技術者が参加した。経験豊富なベテラン講師陣による指導のもと、出題傾向を的確に捉え厳選した演習問題の解説や質疑応答などによる課題克服と、細やかな指導は理解力UPに繋がっている。また、当セミナー受講者の合格率は高いものとなっている。



セミナーのようす

主催	実施日	対象
東日本支部	8月31～9月9日	RT2、UT2、MT2、PT2、ET2
関西支部	9月7日	RT2、UT2、MT2・MY2、PT2・PD2

労働大学校「非破壊検査実習」への協力

技術部会（安田裕之部会長）は、独立行政法人労働政策研究・研修機構が運営する労働大学校からの依頼に基づき、9月10～11日の両日、労働行政の中核を担う行政職員向けの「検査業務専門Ⅱ（非破壊検査講義及び実習）」を行った。全国の労働基準監督署等から労働大学校（埼玉朝霞市）に集合した30名の研修生は、当工業会のベテランの講師陣から非破壊検査座学講習（2時間30分）と、検査種目毎に入念なる準備で臨んだ実技講習（5時間）を2日間にわたり受講した。研修中は、熱心な聴講姿勢と質疑応答などがあり、有意義な実習となった。



実習のようす

研修項目	講義	超音波探傷試験	放射線透過試験	浸透探傷試験	磁気探傷試験
講師	前川 真一	辻 哲平、前川 真一	芥川 秀樹	馬上 宏之	弓野 拓也

**お客様と社員に信頼される  
企業でありつづける**

**溶接検査株式会社**

本社：〒985-0874  
宮城県多賀城市八幡2-16-10  
TEL：022-365-6040  
FAX：022-366-3556  
URL：http://yosetsukensa.com  
出張所：青森・山形・秋田

技術と信頼であらゆるニーズにお答えします  
"High Quality Inspection Service"

**株式会社 アイ・エム・シー**

事業内容 ■ 非破壊検査全般 ■ タンク・プラント保守検査  
■ インフラ点検全般 ■ 品質管理業務

認定 (一社)日本溶接協会(CIWI)認定 A種  
ISO9001 認証 JMAQA-1790  
一般建設業許可 国土交通大臣許可(般-1)第23267号 他

本社 〒652-0898 神戸市兵庫区駅前通5丁目3番14号  
TEL 078(577)3691 FAX 078(576)2008  
URL https://imc-ndi.com

事業所・作業所 千葉事業所/中部事業所/関西事業所

CIWI 認定 A種 想像から創造へ 今感動の技術  
労働者派遣事業許可  
ISO9001 認証 JMAQA-1749

**株式会社 ダンテック**

■ 非破壊試験検査全般 ■ 建築・土木構造物調査診断  
■ 各種プラント保守点検 ■ 各種設備・配管劣化調査  
■ 品質管理 ■ 破壊試験・化学分析等材料試験

本社 〒530-0043 大阪市北区天満4丁目14番13号  
TEL.06(6354)3641 FAX.06(6354)2707

**壊さず  
診る!!**

非破壊検査    インフラ調査    プラント検査

**東洋検査工業株式会社**

【本社】〒640-8306 和歌山市出島31-5 TEL:073-471-1311 FAX:073-474-6211  
【支店・営業所】大阪府堺市/和歌山県和歌山市/茨城県神栖市

**JIMA 2024** 第12回 **総合検査機器展**  
Japan Inspection Instruments Manufacturers' Show

**JIMA2024 第12回総合検査機器展に出展**

展示会委員会(松嶋美乃委員長)は、東京ビッグサイトで9月18日～20日に開催されたJIMA(日本検査機器工業会)主催の総合検査機器展に出展した。総合検査機器展は、非破壊検査機器メーカーが一堂に集まる国内唯一の展示会として、隔年で開催され、最新の検査・計測技術の展示及び技術セミナー等を幅広く紹介している。展示会委員会は広報活動の一環として、アニメ声優によるナレーション動画「非破壊検査の手法」や三上浩一氏(エム・キュービック)と砂川浩一氏(ケンキ)によるコミカルなYouTube動画「非破壊検査の話」を映像展示として放映するなどの広報活動に努めた。



映像展示の様子

**非破壊検査技術を通して  
皆様の安心・安全をサポートします**  
～建築・土木工事における各種非破壊検査・各種調査～

**株式会社 サンテクス**

本社 〒690-0048 島根県松江市西嫁島1-2-9  
TEL0852-22-4478 FAX0852-26-4982  
関東事業所 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区中川3-38-1  
TEL045-350-4470 FAX045-350-4471  
広島事業所 〒732-0023 広島市東区中山東3-1-60-201  
TEL082-508-6205 FAX082-508-6206  
<https://www.sut.co.jp>

**SHK** “診る”を究めて  
人と技術を「安全」という強固な絆で結び、「安心」を提供します。

**新日本非破壊検査株式会社**

営業本部 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4丁目10番13号  
TEL:093-581-1234 FAX:093-581-4567  
東京営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-9  
aLATO日本橋小伝馬町 3階  
TEL:03-6661-1307 FAX:03-6661-1308  
<https://www.shk-k.co.jp>

**住重アテックスは、  
試験検査技術のエキスパートとして、  
社会に産業に貢献します。**

調査・診断・非破壊検査サービス

- フェーズドアレイト法
- デジタルX線
- 3Dレーザ計測
- ドローン点検
- 高所点検ロボット(目視・肉厚測定)

Acceleration Technology and Examination

**住重アテックス株式会社**  
本社所在地  
〒799-1393 愛媛県西条市今在家1501  
TEL:0898-64-6934 FAX:0898-64-6959  
各拠点:東京、神奈川、千葉、愛知、岡山、愛媛

**EVIDENT**

**OmniScan 史上最高スペック登場**  
OmniScan X3と同じ大きさの筐体で64:128PR仕様を実現

OmniScan シリーズの最高峰  
**OmniScan X3**

64素子同時励振(TFMは128)  
小型(約6kg)・タフ設計  
リアルタイムPCI※対応  
※PCI:位相コヒーレンスイメージング

株式会社エビデント ☎0120-58-0414 (フリーダイヤル) [www.EvidentScientific.com](http://www.EvidentScientific.com)

サンコウの測定器・検査機器  
**非接触膜厚計コートマスター FLEX**

◆ウェット/乾燥状態のコーティング層を非接触で測定可能!

**SANKO 株式会社サンコウ電子研究所**  
東京:03-3254-5031 大阪:06-6881-1230 仙台:022-292-7030  
名古屋:052-915-2650 福岡:092-282-6801  
URL <https://www.sanko-denshi.co.jp>

**InspectionWorks** Solutions start here...  
工業用内視鏡製品

**Waygate Technologies** 超音波製品

Real3D 計測技術 ADR(AI) (きず認識サポート) Krautkrämer 75000 USM100& USM100 PRO

デジタル・CR/DR製品 CT製品

FS50B CRxVision DICONDE準拠 X|Approver X線CT-バッテリー自動/判定ソフトウェア(ADR)

Baker Hughes 日本バーカーヒューズ株式会社  
Waygate-tech.com/jp ウェイゲートテクノロジーズ非破壊検査機器事業本部  
メール: [info.japan@bakerhughes.com](mailto:info.japan@bakerhughes.com)

第20回インフラ調査士講習会・資格認証試験 受験者情報

【二次試験結果】

8月1日(木)～2日(金)

会場：川崎市産業振興会館(川崎市幸区)

資格	橋梁(鋼橋)	橋梁(コンクリート)	トンネル	付帯施設
受験者数	65名	58名	70名	64名
合格者数	57名	38名	41名	56名

2024年度前期 第32回配筋探査技術者資格認証試験 受験者情報

7～8月に実施した前期配筋探査実技(二次)試験結果、資格認証者・合格率及び後期資格認証試験日程は次のとおりです。※2024年度後期より配筋探査技術者(土木)資格試験は、関東・関西のみとなります。

配筋探査技術者(土木)実技試験結果						
	関東	関西	九州	受験者合計	合格者	合格率
土木(電磁波レーダ法)	86名	64名	30名	180名	138名	77%
土木(電磁誘導法)	59名	51名	29名	139名	117名	84%

2024年度後期 配筋探査技術者(土木)資格認証試験日程		
	関東 (学科:東京、実技:川崎)	関西 (大阪)
学科(一次)試験	11月28日	11月28日
実技(二次)試験	2月25日～27日	2月12日～14日

配筋探査技術者(建築)試験結果						
	関東	関西	九州	受験者合計	合格者	合格率
建築	47名	—	—	47名	46名	98%

2024年度後期 配筋探査技術者(建築)資格認証試験日程 (試験会場:関東)	
建築学科講習・建築修了試験(eラーニング)	10月3日～10月24日
建築実技講習・建築実技試験(同日開催)	11月19日～11月21日

講習会開催情報	配筋探査実技講習会	[教育部会]	7月9日～29日	東日本・関西・西日本地区	受講者105名
	NDI資格取得のための受験対策セミナー	[東日本支部]	8月31日～9月9日	日本非破壊検査工業会 本部	受講者 24名
	NDIレベル2秋期一次試験対策セミナー	[関西支部]	9月7日	エル・おおさか(大阪府立労働センター)	受講者 28名

講師派遣情報	労働政策研究・研修機構 労働大学校「令和6年度検査業務専門II研修」	9月10日～11日
--------	------------------------------------	-----------

本部

会員動向

令和6年9月30日現在 195社  
(東日本支部77社、関西支部43社、西日本支部42社、機材支部33社)

退会

■西日本支部

宮崎県工業検査株式会社(令和6年9月30日付)

非破壊検査機器の販売・修理・校正・レンタル



工業X線発生装置 超音波探傷器 USM100 超音波厚さ計 DM5E

支える、の一番近くに。

RIKOH-S 理工サービス株式会社

〒733-0035 広島市西区南観音6丁目3番10号  
TEL: (082)292-2552 (代) FAX: (082)295-0566  
E-mail: rikoh@rikoh-s.com URL: https://www.rikoh-s.com/



RYOSHO 超音波探傷器

- ◎標準機能からRタイプ機能まで幅広いニーズに対応。
- ◎「中小企業等経営強化法の適用」で税制措置を受けることができます。



UI-S9

UI-R1

菱電湘南エレクトロニクス株式会社 〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎25番地  
TEL 0467-45-3411 FAX 0467-44-7517  
URL http://www.rsec.co.jp E-mail: info@rsec.co.jp



VIEWWORKS 巻き付け可能な屈曲タイプ  
バンドル産業用X線検出器

VIVIX-V 1025B

バンドル(屈曲タイプ)産業用X線検出器

- 巻き付け可能なバンドル仕様
- Flexible a-Si TFT
- 画素サイズ: 99μm
- 有効画素数: 988 × 2524 mm

VIVIX-V 1043B

バンドル(屈曲タイプ)産業用X線検出器

- 巻き付け可能なバンドル仕様
- Flexible a-Si TFT
- 画素サイズ: 99μm
- 有効画素数: 988 × 4316 mm



日本ビューワークス株式会社

1350064 東京都江東区青海 2-4-32 タイム 24ビル 4階  
TEL 03-5579-6516 www.viewworks.co.jp